

学校教育目標	あかるく なかよく たくましく
目指す学校像	○児童が生き生きと活動し、笑顔と活気があふれる学校 ○児童一人ひとりを大切にし規律ある学校 ○教師が誇りと使命感をもって働く学校 ○教育環境が整い、安心安全で、きれいな学校 ○保護者や地域から信頼されともに歩む学校
重点目標	1 学力向上のための学習指導の充実 2 豊かな心と健やかな体を育むための教育活動の充実 3 コミュニティ・スクールと組織的な連携の充実 4 学校生活を充実させるための教育環境の整備 5 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	（8割以上）
	B	概ね達成	（6割以上）
	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状（○）と課題（●）	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに全国、県平均と比べ良好な結果である。 ○市の学習状況調査において、主体的に学習に取り組む態度に関する質問に肯定的な回答をした児童の割合は、中高学年で市平均と比べ高い。自分で学び方を工夫し、積極的に課題解決に取り組むことのできる児童が多い。 ●落ち着いて学習に取り組んでいる児童が多いものの、学習面又は行動面で困難を示す児童も見られ、ICT を効果的に活用しながら、個別的な学習が求められている。	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	①「目標・まとめ・振り返り」に特化した授業を推進し、児童が学習の見通しと学びの自覚をもてる授業づくりを行う。 ②「振り返りのデジタル化」「学びのプロセスの共有化」等、タブレット端末とクラウドを活用し教育D Xによる効果的な学習を推進する。	①②学校評価「授業が分かりやすい」の肯定的回答が、前年度（児童 92%保護者 87%）と同程度又は上回ったか。 ①「目標・まとめ・振り返り」を位置付けた授業が全学級で実施されている。 ②タブレット端末を活用した振り返りや学習の共有が継続的に行われている。					
		・学びの質の向上につなげるカリキュラムマネジメントと探求的な学びの充実	①教科同士のつながりを意識した教育課程や学習活動を創造するとともに、自分で試したり、友達と協働したりする課題解決型の授業を実施する。 ②総合的な学習の時間において、「課題を見つけ、解決する」サイクルを単元の中に複数回計画し、実施する。	①教科どうしをつなげた学習や生活と結び付けた学習が、各学年で計画的に実施されている。 ②自分で課題を見つけて取り組む姿や、調べたり試したりしながら解決に向かう様子が見られる。					
2	○児童は全体的に穏やかで落ち着いて生活している。どの学年も誰とでも関わることができる。 ○市の学習状況調査において、「自分には、よいところがある」の質問に肯定的な回答をした児童の割合は、ほとんどの学年で市平均を上回っている。 ●学校評価に係るアンケートでは、「失敗を恐れずに新しいことにチャレンジしている」の肯定的な回答をした割合について、他の質問と比較すると、教職員、保護者ともに低い。	・児童一人ひとりへの細やかな教育支援・相談体制に向けた校内体制の充実	①月 1 回の定例会（生徒指導、教育相談部会）や研修会を実施し、児童理解に基づいた指導と支援が行えるようにする。 ②生徒指導事案については、学校としての対応方針と初動の流れを明確にし、迅速に組織的対応を行う。	①②学校評価「学校は保護者からの連絡・相談に丁寧に対応している」のA評価（よくあてはまる）が前年度（保護者 47%）を上回ったか。 ①②教職員が児童の様子を共有しながら支援に当たり、困り感のある児童に対して早期に対応できているか。					
		・豊かな心を育む教育活動の充実	①異学年交流「にじいろタイム」を実施し、児童の主体性や思いやりの心を育む ②委員会児童によるキャンペーン活動や児童集会の運営等、児童主体で学校をよりよくする活動を推進する。	①②学校評価「児童は失敗を恐れずにチャレンジしている」の肯定的回答が前年度（児童 88%）と同程度維持できたか。 ①②異学年交流や児童主体の活動が計画的に行われ、児童が互いに関わりながら活動している様子が見られる。					
3	○市の学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の質問に肯定的な回答をした児童の割合は、市平均を上回っている。 ○P T A も地域も学校の教育活動に協力的である。学校を誇りに思う地域住民が多く、今年度、開校 100 周年行事が多く企画されている。 ●保護者の生活や働き方が多様になる中で、学校との連絡の取り方や関わり方をどのように工夫していくかが課題となっている。	・学校運営協議会や地域、関係機関と連携した教育活動の充実	①開校 100 周年実行委員会や PTA、地域と協働しながら、100 周年記念事業を円滑に進める。 ②学校運営協議会において、教職員も参加して委員と意見交換を行い、学校の取組や課題について共有する。	①開校 100 周年記念事業において、関係団体と連携しながら取組を進めることができたか。 ②学校運営協議会において、教職員と地域の方が意見交換を行い、学校の取組や課題を共有することができたか。					
		・教育活動の情報発信の充実	①学校だよりや懇談会等を通して、学校の教育活動の様子や子どもたちの学びの様子などを分かりやすく伝える。保護者が学校の様子を把握しやすいように、情報発信の工夫を行う。	①学校評価「学校は保護者や地域に分かりやすく情報発信している」の肯定的回答が前年度（保護者 93%）と同程度維持できたか。					
4	○昨年度末にリフレッシュ工事が完了し、新しくなった施設・設備は、性能・使いやすさが向上して、子どもたちは快適に過ごしている。 ○敷地内には、大きな樹木をはじめ、観覧池に生息する水生小動物等、豊かな緑と自然が広がっている。 ●雨の日の登校について、児童が通る昇降口までの道で水没する箇所があり、迂回をして通っている。通行のしやすさや安全面で課題がある。 ●築山等、現在使用禁止となっている遊具等の改修をどう進めるか課題となっている。	・安全で安心して過ごせる教育環境の整備	①学校教育活動の目的を踏まえた、適正かつ効果的な予算執行を行い、教科等備品の購入と計画的な環境整備を行う。 ②教職員による安全点検を毎月実施し、管理職による日常的な巡視とあわせて組織的に安全確認を行う。また、不良箇所については迅速に対応するとともに、必要に応じて関係機関に報告・相談しながら改善に向けた対応を進める。	①②学校評価「学校は施設・設備の整備を適切に行っている」の肯定的評価が前年度（保護者 83%）を上回ったか。 ①12 月末の時点で、予算の執行率を 60%以上、修繕の執行率を 80%以上達成できたか。 ②教職員による安全点検や管理職による巡視が継続的に行われ、不良箇所に対して迅速な対応がなされている。					
		・教職員一人ひとりの成長を支える研修や学び合いの充実	①教職員同士で少人数のグループをつくり、互いの授業を見合いながら学び合うことで、指導力の向上を図る。 ②サキドリで確保した研修の時間を活用して授業研究を行い、より分かりやすく質の高い授業づくりにつなげる。	①②学校評価「計画的な授業改善に向けた取組」の教職員の肯定的な回答 85%以上を達成できたか。 ①②教職員が授業を見合ったり研修に参加したりする機会が確保され、学び合いながら授業改善に取り組んでいるか。					
5	○教員の学ぶ意欲は高く、過去 2 年間、教科横断的な視点に立った探求的な学びとカリマネの研修に取り組み、研修を通して実践的に指導力向上に取り組んできた。 ●教職員の時間外在校等時間の平均が一月 4 5 時間を下回っているものの、個人差が大きく、教職員一人ひとりの業務量の偏りを見直し、健康に配慮した働き方を進めていく必要がある。	・教職員が働きやすい職場づくりと業務改善の推進	①学校全体で業務の見直しを行い、内容の整理と優先順位の明確化、業務分担の見直しを進める。 ②教職員が相談しやすい環境づくりや声かけを行い、心身の健康に配慮した働きやすい職場づくりを進める。	①学校全体で業務の見直しや分担の調整が行われ、教職員が無理なく業務に取り組める状況が見られる。 ②勤務に関する意識調査の前年度の肯定的回答「やりがい」（96.8%）「協働体制」（83.9%）が同程度又は上回ったか。					